

今月の特集

地域社会と共に

～名古屋グランパス×名古屋市 包括連携協定締結～



10/29(金)に、地元のプロサッカークラブ名古屋グランパスと包括連携協定を締結しました。
名古屋市と連携した取り組みをはじめ、名古屋グランパスによる地域・社会活動を紹介します。

包括連携協定とは

市民生活の幅広い分野で連携し、市民サービスの一層の向上、地域の活性化などの取り組みを通して、相互の持続的な発展を目指していくものです。

締結のメリット

行政だけの力では対応が難しい課題に対し、企業と行政が互いの長所を生かして連携することで、より効果的な取り組みが可能になります。

▶本市との取り組み例

サッカーを通じた子どもとのふれあい事業

ふれあいサッカー教室、親子無料観戦招待、選手やスタッフによる小学校訪問を毎年実施し、子どもたちがスポーツに興味関心を持つきっかけや将来の目標を考える機会を創出しています。



市営交通100周年記念事業などへの協力

来年、市営交通100周年・名古屋グランパス30周年を迎えるため、相互に周年を盛り上げる取り組みを実施しています。今年度は、約500人の地下鉄駅職員が「鯨の大祭典・市営交通100周年コラボTシャツ」を着用し、市営交通100周年のPRと市営交通の利用を促進しています。



消防局と連携した地域防災力の向上

消防局・消防団と協働して、イベントなどに参加し、地域防災力の向上を図っています。



▶社会貢献活動



名古屋グランパスでは、ホームタウンである愛知県がより良くなるよう、そして持続可能でより良い世界が実現するよう、日頃から地域や試合会場でさまざまなSDGsへの取り組みを行っています。

11 持続可能なホームタウンを目指して

スタジアム周辺のゴミ拾いを行い、ボランティアの皆さんなどと連携して分別したり、これまで販売したユニフォームやTシャツなどの不要になった衣料品を、専用BOXで回収し、地球の資源へとリサイクルする活動を行っています。



↑ボランティアによるゴミ拾い

3 スポーツに親しみ、楽しむことで健康な毎日!

スポーツと健康は非常に密接な関係にあります。サッカー選手は、専門のトレーナーや栄養士がサポートしながら細かく身体に気をつかい生活しています。今まで培ってきたクラブのノウハウを活かし、ホームタウンの皆さんに食育を通して、いつまでも健康に生活できる手助けをしています。



↑小学校での食育講演

▶選手コメント・社長メッセージ

名古屋グランパス キャプテン 丸山祐市 選手 感謝の気持ちを勝利と活動で示したい



選手は試合で全力を尽くし、皆さんの期待に応えるべく日々練習に励んでいます。新型コロナウイルスの影響により世界中で大きな影響が出ている中、私たち選手が安心して試合を出来ているのも支えてくれる皆さんのおかげであり、その分、ホームタウンにお返ししていく必要があると考えています。今後も名古屋市がより良い街になるよう、チーム一丸となって活動していきます。

名古屋グランパス 柿谷曜一朗 選手 背番号8にふさわしい選手を目指して



今年、名古屋グランパスに加入し背番号8を背負ってプレーしています。名古屋市の「八」、そして名古屋グランパスエイトの「エイト」ということで責任を感じています。試合でのプレーはもちろん、さまざまなホームタウン活動でも、名古屋の皆さんにより愛してもらえる選手になれるよう頑張っていきます。



株式会社名古屋グランパスエイト 代表取締役社長 小西工己 さん すべてはホームタウンとともに

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いており、社会に多大な変化をもたらしました。Jリーグは2020年、長期間の中断を初めて経験しましたが、そうした期間を経て、あらためてクラブの在り方を見つめ直すことができました。名古屋グランパスでは、サッカーの試合だけではなく、SDGsの活動をはじめ、ホームタウンが持続可能な社会になるよう、行政や地域の皆さんのお力添えもいただきながら、より良い街、より良いクラブになるよう、今後も活動を続けてまいります。

写真提供:名古屋グランパス

問合せ

(包括連携協定・本市との取り組みについて) 総務局総合調整室 ☎ 972-2223 FAX 972-4112
(名古屋グランパスの社会貢献活動について) 株式会社名古屋グランパスエイト ☎ 0565-79-8880 FAX 0565-79-8110